

報告第7号

公益財団法人市川市文化振興財団の平成23年度決算及び平成24年度事業計画に関する報告について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、公益財団法人市川市文化振興財団の平成23年度決算及び平成24年度事業計画を別添のとおり報告する。

平成24年6月8日提出

市川市長 大久保 博

平成 23 年 度

事 業 報 告 ・ 決 算 書

第 28 期
自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

公益財団法人 市川市文化振興財団

公益財団法人 市川市文化振興財団

平成 23 年度 事業報告

市川市文化振興財団は、平成 23 年 4 月 1 日、公益財団法人に移行した。

新しい公益法人制度の下、理事会と評議員会の役割の明確化、公益目的に行う事業の明確化、法人経営の透明化が図られたわけである。

公益財団法人としての 1 年目の平成 23 年度は、東日本大震災の影響が残り、計画した事業の一部に変更が生じたが、自主事業等で市民のニーズに応え、質の高い芸術文化事業を多数提供したほか、アウトリーチ活動やワークショップなど様々な世代を対象とした地域に根差した事業を展開した。

当財団の事業の基幹をなす施設管理についても、公の施設の指定管理者として公平性、効率性を重視した運営をしてきた。また、施設の維持管理、保守についても来館者に安全で快適に利用していただくため、修繕や設備の更新等、指定管理者として、最大限意を用い実施した。施設の利用は、文化会館大ホールにおいて夏季に音響工事を施工したことから利用率が若干落ち込んだものの、その他の施設は例年並みであった。

新制度の下では、評議員会、理事会の関係が変わり、評議員会が法人の重要事項の決定にかかわることとなったが、平成 23 年度は、理事会は 7 回(決議の省略含む)、評議員会は定時評議員会を含め 3 回(決議の省略含む)を開催した。

また、事務局では、業務の効率化、サービスの向上をねらった組織の見直しや I T 化の推進、管理コストの削減等を、前年度に引き続き推進した。

1 公益目的事業

当財団の公益目的事業は「地域の文化芸術の振興を図る事業」1 本であり、この事業には当財団の過半の事業が含まれる。この事業の実績を 4 分類して以下に説明するが、これらの 4 種類の事業は、指定管理者として管理する公の施設を主な拠点に展開するものであり、それぞれの事業は密接不可分の関係にある。

(1) 文化芸術活動に資する施設の管理・運営

市川市から指定を受けた指定管理者として以下の公の施設を管理した。いずれの施設も指定期間は平成21年4月1日から平成26年3月31日までである。指定管理する施設の利用の大部分は文化芸術にかかる利用、あるいは不特定多数に開かれた催し等の利用であり公益目的事業にかかる利用とみなされたが、それに該当しない利用、また駐車場の利用等は公益目的事業とみなされず、これらの利用にかかる施設の管理は収益事業等に区分した。平成23年度における、当財団が管理する施設の利用のうち、当財団の公益目的事業にかかる利用と公益目的外の利用との比率は概ね75対25であった。

各施設の利用状況は以下のとおり。なお、各館の開館日数、利用率は公益目的事業と、公益目的事業以外の利用を合わせた数字である。

○文化会館

(開館日数:大ホール 205日、小ホール 304日、展示室 332日、会議室・練習室・和室・茶華道室 334日)

区 分	利用日数	利 用 率	利 用 者 数
大 ホ ー ル	170日	83%	191,350人
小 ホ ー ル	225日	74%	51,645人
展 示 室	238日	72%	39,985人
会 議 室	288日	86%	82,843人
練 習 室	332日	99%	25,946人
和 室	206日	62%	5,497人
茶 華 道 室	205日	61%	4,357人
計			401,623人

専門業者に対する業務の委託

施設管理業務委託・清掃管理業務委託・警備保安全管理業務委託・

舞台管理業務委託の常駐業務のほか保守点検等の業務委託 24件

○市民会館

(開館日数:ホール 325 日、第一会議室 335 日、第二会議室 336 日、
展示室 336 日)

区 分	利用日数	利 用 率	利 用 者 数
ホ ー ル	2 9 4 日	9 0 %	7 0 , 0 5 9 人
第 一 会 議 室	3 2 4 日	9 7 %	1 4 , 6 0 4 人
第 二 会 議 室	3 2 1 日	9 6 %	2 7 , 1 6 4 人
展 示 室	3 3 3 日	9 9 %	1 6 , 9 5 6 人
言十			1 2 8 , 7 8 3 人

専門業者に対する業務の委託

警備保安管理業務委託・清掃管理業務委託・警備保安管理業務委託・
舞台管理業務委託の常駐業務の他保守点検等の業務委託 1 7 件

○行徳公会堂

(開館日数:大ホール 312 日、大会議室 337 日)

区 分	利用日数	利 用 率	利 用 者 数
大 ホ ー ル	2 1 1 日	6 8 %	5 4 , 5 5 5 人
大 会 議 室	3 2 9 日	9 8 %	3 4 , 2 2 5 人
言十			8 8 , 7 8 0 人

専門業者に対する業務の委託

警備保安管理業務委託・舞台管理業務委託等 3 件

○芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー

(開館日数:芳澤ガーデンギャラリー308 日、木内ギャラリー308 日)

区 分	利用日数	利 用 率	利 用 者 数
芳澤ガーデン ギャラリー	2 9 8 日	9 7 %	2 7 , 6 5 4 人
木内ギャラリー	1 2 4 日	4 0 %	6 , 3 6 3 人
言十			3 4 , 0 1 7 人

専門業者に対する業務の委託

芳澤ガーデンギャラリー

警備保安管理業務委託・樹木管理業務委託等 9 件

木内ギャラリー

清掃業務委託・樹木管理業務委託等

3件

以上の指定管理のほかに、市川市が所有する文化資産である郭沫若記念館、清華園、水木洋子邸等の施設管理業務及び施設の清掃・庭園樹木の管理を受託した。なお、これまで管理の受託をしていた片桐邸は老朽化により処分することになり、当財団の管理は外れた。

(2) 文化芸術の鑑賞の機会の提供

指定管理者として管理している施設を中心に、それぞれの施設の特質や、地域特性を生かした公演等を企画し、開催した。また、財団が管理する施設にとどまらず、様々な公共的空間を利用したアウトリーチ活動を行い、市民が幅広いジャンルの芸術文化に身近に接する機会を提供した。また、市民の鑑賞機会の拡充のため、共催の形で外部の事業を積極的に誘致したほか、市川市から文化事業を受託し実施した。なお、主催事業のうち、経費を入場料収入で賄えない事業については、市川市からの「自主事業補助金」を活用した。

施設ごとの自主事業、共催事業、受託事業、後援事業は次のとおり。

<自主事業>文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業

① 音楽・演劇・落語

(文化会館、行徳文化ホール、市民会館などでの公演事業)

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	こまつ座公演	4月20日	大ホール	井上ひさし追悼ファイナル「日本人のへそ」
2	宝塚歌劇 雪組公演	4月23日	大ホール	ミュージカル・プレイ「黒い瞳」、ショー「ロックオン」
3	友の会感謝コンサート	5月31日	大ホール	錦織健&東京交響楽団演奏会

No.	事業名	公演日	会場	内容
4	吉里吉里支援募金 チャリティーコンサート	7月～8月 (6回)	大ホール ロビー	被災地大槌町への復興支援 チャリティーコンサート
5	高橋真梨子コンサート	9月4日	大ホール	”soiree” MarikoTakahashi with Henry Band
6	林英哲＋山下洋輔＋ 坂田明コンサート	9月7日	大ホール	太鼓・ピアノ・サクソ ～SOLO-DUO-TRIO Project～
7	レ・フレールコンサート	10月1日	大ホール	兄弟によるピアノコンサート
8	宝塚歌劇 花組公演	10月15日	大ホール	江戸風土記「小さな花が開いた」、 ロマンチック・レビュー 「ル・ポアゾン愛の媚薬Ⅱ」
9	落語公演	10月8日	小ホール	古今亭菊之丞独演会
10	山下達郎コンサート	11月6日	大ホール	Performance 2011 - 2012
11	(村治佳織・奏一ギター コンサート)	11月19日	大ホール	体調不良のため中止
12	A u r a クリスマス コンサート	12月8日	小ホール	クラシック・ア・カペラ コンサート
13	井上ひさしが愛した ガーシュイン他音楽会	12月25日	大ホール ロビー	ロビーコンサート 「クリスマスジャズコンサート」
14	ブラスバンド フェスティバル	1月14日	大ホール	警察音楽隊と市内小中学校の ブラスバンド演奏
15	ウィーン・ヨハン・ シュトラウス管弦楽団	1月15日	大ホール	ウィーン本場のニューイヤー コンサート
16	おやこ寄席	1月28日	大会議室	三遊亭圓馬、三笑亭朝夢 落語を親子で楽しむ
17	郷古廉ヴァイオリン リサイタル	3月31日	小ホール	高校3年生 天才ヴァイオリン 奏者による演奏会
18	午後のクラシック	年5回	大会議室	新人演奏家コンクール受賞者 による室内楽を隔月に開催
19	市川寄席	年3回	大会議室	「寄席をさらに身近に」を コンセプトに大会議室で開催

○市民会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	ファミリーコンサート	11月21日	ホール	未就学児のためのコンサート 「どうぶつたちのおんがくかい」
2	はちまん寄席	1月21日	ホール	落語 柳家さん喬、林家たい平 講談 一龍齋貞友

○行徳公会堂

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	Pia-no-jaC コンサート	5月20日	ホール	Travellin Band Tour 2011 Supported by ピーエフ フライヤーズ
2	長富 彩 ピアノリサイタル	6月25日	ホール	若手ピアニストシリーズ vol.1
3	落語公演「行徳名人会」	7月2日	ホール	ざこば・米團治二人会
4	田部 京子 ピアノリサイタル	7月9日	ホール	22年度事業として計画 震災による延期分
5	山本 貴志 ピアノリサイタル	8月28日	ホール	若手ピアニストシリーズ vol.2
6	沖仁ギターリサイタル	10月20日	ホール	AUTUMNTOUR2011 フランメンコギターと歌、 舞踊
7	あいあいコンサート	12月17日	ホール	親子で楽しむクリスマス コンサート
8	小菅 優 ピアノリサイタル	1月7日	ホール	若手ピアニストシリーズ Vol.3
9	がーまるちょば	1月14日	ホール	サイレントコメディ in 行徳
10	坂東玉三郎朗読公演	1月31日	ホール	歌舞伎役者による「泉鏡花・ 幻想の世界」朗読公演
11	落語公演「行徳名人会」	3月3日	ホール	柳家小三治独演会
12	木村 大 ギターリサイタル	3月10日	ホール	若手実力派ギター演奏会

○芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	芳澤ジャズ音楽会	7月2日	芳澤ガ デンギャ ラリー	椎名豊トリオ ジャズライブ 2011
2	落語公演「芳澤寄席」	7月3日	芳澤ガ デンギャ ラリー	林家正雀～栗田口霨笛竹～
3	てこな森 木内邸音楽会	年6回	木内ギャ ラリー	新人演奏家コンクール受賞者 による室内楽

○その他

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	新春議場コンサート	1月4日	市川市議事堂	新人演奏家コンクール受賞者による邦楽演奏会
2	小島貞二記念 清華寄席	年4回	清華園	中山地区での寄席

②美術・工芸・写真

(芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリー、談話室などでの展示)

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	市川こどもアートクラブ	年4回 2コース	大会議室	図工教師による定期指導

○芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	市川こどもアートフェスティバル	4月23日～ 5月8日	芳澤ガーデンギャラリー	図工教師による子供の発想引き出し作品展示
2	市川の工芸シリーズ「佐々木信也 木・漆展」	10月2日～ 10月26日	芳澤ガーデンギャラリー・木内ギャラリー	市内在住の工芸作家展
3	増殖する笑顔展	11月3日～ 11月27日	芳澤ガーデンギャラリー	市民の手による写真の笑顔展
4	さかざきはるの世界	2月11日～ 3月25日	芳澤ガーデンギャラリー	市民芸術文化賞奨励賞を受けた坂崎千春氏の記念展覧会
5	もうひとつの素朴展	7月31日～ 8月14日 8月20日～ 9月4日	木内ギャラリー	福祉施設に学ぶ生徒の絵画展
6	旧木内別邸出土の考古資料	11月15日～ 11月30日	木内ギャラリー	木内邸に因む考古資料展示
7	こども向けイベント「オーナメントをつくろう」	12月23日	木内ギャラリー	クリスマスグッズを親子で作る

○その他

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	談話室事業	年 12 回	文化の広場	市内ゆかりの作家による作品展示
2	井上ひさし資料室	通年	資料展示室	井上ひさし氏に因む展示

③教養文化事業

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	新人演奏家事業 (コンクール・演奏会他)	通年	小ホール	新人演奏家発掘事業

○市民会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	芸術映画鑑賞会	10月3日・ 10月17日	ホール	シューマンとロマン派の音楽家たち「演奏付き音楽講座～傑作をめぐるエピソードと演奏」、「愛の調べ」
2	芸術講座	年 2 回	ホール	音楽講座、俳句講座

○行徳公会堂

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	東京シティ・フィルメンバーによる春休みファミリーコンサート(クリニック付)	5月3日	ホール他	こどもを対象とした演奏体験

○芳澤ガーデンギャラリー、その他

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	市町村立美術館活性化事業第12回共同巡回展	7月23日～ 9月19日	芳澤ガーデンギャラリー	世田谷美術館所有「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」
2	サテライト事業コンサート	年 3 回	市内各所	市内学校、福祉施設、寺社でのコンサート
3	サポーター関連事業	通年	各施設	楽器講座・ハーブ、邦楽講座・邦楽囃子、美術講座・写真

④市民協働事業

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	サポーター企画事業（音楽）	通年	各施設	演奏会を市民文化サポーターが企画から本番まで全て担当
2	サポーター企画事業（美術）	通年	各施設	美術展を市民文化サポーターが企画展示する
3	市民芸術文化賞事業	通年	各施設	市民が選ぶ文化人受賞記念事業
4	ボランティア事業	通年	各施設	財団事業のさまざまな事業に協力
5	中山文化村事業	通年	中山文化村	中山地区の活性化事業 季節に因むイベントなど
6	市川よみっこ運動事業	通年	市内施設	子供たちの読書運動を市民ボランティアが活性化
7	水木洋子事業	通年	水木洋子 邸他	映画シナリオ作家顕彰事業

< 共催事業 >（文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業）

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	宝塚歌劇 雪組公演	4月23日 ・24日	大ホール	宝塚歌劇全国ツアー
2	市川 狂言の夕べ	9月14日	小ホール	日本古来の伝統芸能公演
3	柴咲コウコンサート	9月22日	大ホール	若手人気アーティスト公演
4	第18回市川市ユネスコ音楽祭	10月2日	小ホール	地域に育つ若い音楽家や学校との音楽祭
5	宝塚歌劇 花組公演	10月15日 ・16日	大ホール	宝塚歌劇全国ツアー
6	市川市芸術文化集会 第18回シンポジウム	2月11日	大会議室	震災後の文化活動についてのシンポジウム
7	よみっこ記念講演	2月18日	小ホール 他	井上ひさし氏が提唱した「よみっこ運動」の一環として記念講演

○行徳公会堂

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	舞台劇 劇団たんぽぽ 「100万回生きたねこ」	5月14日	ホール	子どもと大人向けの舞台芸術を親しむ舞台劇
2	ジェイクシマブクロ コンサート	7月30日	ホール	海外アーティストのコンサート

No.	事業名	公演日	会場	内容
3	チャゲコンサート	10月14日	ホール	人気アーティスト公演
4	井上ひさし顕彰市民事業 「それからのブンとフン」	12月3日 ・4日	ホール	井上ひさし顕彰事業 市民参加公演
5	第360回市響 行徳・親子ふれあい コンサート	2月26日	ホール	0歳から親子で歌って踊れる コンサート

○芳澤ガーデンギャラリー、その他

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	村松秀太郎展	4月9日～ 4月17日	芳澤ガーデンギャラリー	市内日本画家の展覧会
2	市川フォト フェスティバル 2011	11月16日～ 11月20日	文化会館 展示室	市民参加型の写真公募展
		11月23日～ 11月27日	行徳文化 ホール	
		1月6日～ 1月9日	木内ギャ ラリー	
		1月19日～ 1月22日	行徳文化 ホール	
3	伝統工芸染と織展	12月3日～ 12月11日	芳澤ガーデンギャラリー	伝統工芸の手描友禅染と 綴織の展覧会
4	柴田誠功展	1月18日～ 1月24日	木内ギャ ラリー	マタギ絵展覧会

<主な受託事業>（市川市等からの受託事業）

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	平和寄席	9月9日	大ホール	講演及び平和関連寄席
2	人権講演「ヒューマン フェスタいちかわ2011」	12月15日	小ホール	人権週間前の人権啓発 イベント
3	成人式の集い	1月14日	大ホール	成人式サプライズ公演の 企画事業

○芳澤ガーデンギャラリー

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	市川市新収蔵作品展	6月16日～ 7月22日	芳澤ガーデンギャラリー	市川市収蔵の作品展
2	第14回市川の文化人展	2月2日～ 3月24日	芳澤ガーデンギャラリー	市川ゆかりの作家展 〈福田千恵展〉

○その他

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	いちかわドイツデー	9月23日 ・24日	ニッケ コルトン プラザ	市主催のドイツデー、 コンサート企画実施
2	大本山中山法華経寺 完成式典記念コンサート	10月16日	中山法華経寺 祖師堂	伝統的な雅楽の演奏 「声明と東儀秀樹」
3	東山魁夷記念館演奏会	年3回	東山魁夷 記念館	展示作品に囲まれた演奏会
4	アイ・リンク スカイコンサート	月2回	アイ・リン クタウン 45階	市川駅前ビル45階で 若手演奏家のコンサート

<後援事業> (文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業)

○文化会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	落語公演	4月8日	大ホール	桂歌丸・三遊亭円楽 二人会
2	NHK学園生涯学習 フェスティバル 市川市俳句短歌大会	4月14日 ・15日	小ホール	俳句・短歌に関する講演会 優秀作品の発表・表彰
3	アンサンブル・オステリア	5月14日	大会議室	若手奏者2人による サクソフォン演奏
4	日本バレエ協会関東支部 千葉地区主催合同公演	5月15日	大ホール	若手ダンサーを育てる公演
5	第27回選抜新人舞踊公演 第23回選抜ジュニア舞踊 公演	5月21日	大ホール	若手舞踊家を育てる公演
6	合唱セミナー2011	7月24日	大会議室	発声方法やハーモニーの 作り方など講師による講義

No.	事業名	公演日	会場	内容
7	市川手工芸公募展	9月14日 ~9月18日	展示室	文化団体の手工芸公募展
8	市川音楽祭	9月28日	大ホール	日本で歌われているフランス、イタリアの音楽を広める音楽祭
9	しますえよしおコンサート	10月30日	大ホール	シャンソン公演
10	平成23年秋季吟行会	10月30日	大会議室	俳句の発表会
11	チャリティー公演オペラ 「イル・トロヴァトーレ」	11月3日	小ホール	オペラを通して音楽と芝居を楽しむ公演
12	市川シニアアンサンブル	3月16日	小ホール	日本の名曲、世界の名曲、クラシックの演奏
13	クエンカ・ディオ〜ギター & ピアノリサイタル〜	3月30日	小ホール	ギターとピアノによるクラシック
14	第15回全国水声書展	12月3日 ~12月5日	展示室	書道展

○市民会館

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	市川交響吹奏楽団 チャリティーコンサート	6月25日	ホール	震災チャリティー公演
2	第9回「回遊展 in 八幡」	9月17日 ・18日	ホール他	八幡地域の市民参加型イベント
3	舞台劇 「キュリー×キュリー」 (青年劇場)	12月18日	ホール	中高生、大人を対象とした演劇
4	雅楽 雅鳳会	3月3日	ホール	日本最古の伝統である雅楽の演奏

○行徳公会堂

No.	事業名	公演日	会場	内容
1	東日本大震災チャリティー ジャズコンサート	6月12日	大会議室	震災チャリティー公演

(3) 文化芸術に関する講座等の開催及び体験の機会の提供

主に指定管理をする施設において、市民を対象に文化芸術に関する講座、ワークショップ、体験教室等を開催した。また、当財団にはステップアッ

講座を修了した文化サポーター（130名）が登録されているが、このサポーターによる自主企画事業も開催した。

《講座・ワークショップ等開催状況》

- 芸術映画鑑賞会(愛の調べ)
- 芸術講座(俳句、音楽)
- 東京シティフィルクリニック(楽器体験)
- 市川こどもアートフェスティバル
- 市川こどもアートクラブ

《サポーター企画事業》

- 音楽部門 演奏会を企画から本番まで市民文化サポーターが全て実施
チェロ演奏会、ファミリーコンサート、ヴァイオリンコンサート、
サクソフォンコンサート、シャンソンコンサート
- 美術部門 美術展を企画から本番まで市民文化サポーターが全て実施
- 墨彩画ワークショップ、岡本太郎美術講座、いちかわ街かど美術展

(4) すぐれた文化芸術活動の顕彰及び担い手の育成

市川市における優れた文化芸術活動を顕彰するため、平成9年以降、市民の有志により10回にわたり行っていた市川市民文化賞を発展的に当財団が継承し、平成20年に再出発した。名称も「市民芸術文化賞」とし、平成23年度で4回を迎えた。平成23年度は、芸術文化賞1名、同奨励賞2名を選び、授賞式に合わせ、講演会等を開催した。

《平成23年度市民芸術文化賞》

- 市民芸術文化賞 岡本 公夫氏 (川柳作家)
- 市民芸術文化奨励賞 高野 史郎氏 (自然観察指導員)
- 市民芸術文化奨励賞 荒 絵理子氏 (オーボエ奏者)

また、毎夏に若手演奏家の発掘のためのコンクールを開催しているが、平成23年度は第24回として開催した。平成23年度からはこの種のコンクールとしては全国でも稀な取り組みとして邦楽部門を加えた。

なお、コンクール入賞者は、新人演奏会に出演するほか、当財団の事業のなかで積極的に活躍いただいている。

さらに、過去のコンクール入賞者等、当財団の事業や市内のイベント等に協力いただける人材をリスト化した「アーティストバンク」事業にも、113名が登録されている。

《アーティストバンクの登録状況》

○管・打楽器部門	30名
○弦楽器部門	30名
○ピアノ部門	30名
○声楽部門	19名
○邦楽部門	4名

2 収益事業等

公益財団法人への移行認定の申請に当たって「公益目的外」とした事業は「物品販売事業」（収益事業）、「公益目的事業以外の施設貸与」（その他事業）、「友の会運営事業」（その他事業）の計3事業である。これらは、公益認定上は「収益事業等」として一括して扱われる。

（1）管理する施設の利用者の利便に資する物品等の販売

指定管理する施設での、公演のチケットの受託販売、自動販売機による飲料の販売、その他、施設利用者の利便に資する物品の販売を行うもの。

平成23年度は芳澤ガーデンギャラリーにおいて開催した「さかざきはるの世界展」において関連グッズの販売も行った。

（2）公益目的とした事業以外への施設の貸与

当財団が管理する施設利用（貸出）のうち、当財団の公益目的事業とはとらえられない利用について「その他事業」（収益事業等）として扱っている。平成23年度の公益目的事業としての利用と、公益目的事業外の利用

の比率は、約 75 対 25 であった。なお、各施設の利用の件数等は、公益
目的事業の項で掲げた数字の中に含まれる。

(3) 友の会事業

当財団の事業に関心を持つ市民等を登録し、情報提供と主催、共催公演
のチケットの割引販売等を行う。会費は年額 2,000 円。平成 23 年度
末の会員数は 1,593 人。漸減傾向にあるため、入会特典などを充実し
たキャンペーンを実施した。

3 法人運営

評議員会	定時評議員会開催	1 回
	臨時評議員会開催	2 回（うち 1 回は定款第 19 条に規定 する「決議の省略」による）
理事会	理事会の開催	7 回（うち 2 回は定款第 33 条に規定 する「決議の省略」による）

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	83,334,761	—	83,334,761
貯蔵品	3,231,346	—	3,231,346
前払金	2,480,230	—	2,480,230
未収金	10,726,818	—	10,726,818
流動資産合計	99,773,155	—	99,773,155
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,000,000	—	30,000,000
基本財産合計	30,000,000	—	30,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	124,493,125	—	124,493,125
著作権収入積立資産	10,853,050	—	10,853,050
特定資産合計	135,346,175	—	135,346,175
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,870,545	—	2,870,545
什器備品等	4,839,888	—	4,839,888
その他固定資産合計	7,710,433	—	7,710,433
固定資産合計	173,056,608	—	173,056,608
資産合計	272,829,763	—	272,829,763
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	50,075,977	—	50,075,977
未払法人税等	2,365,200	—	2,365,200
未払消費税等	2,603,200	—	2,603,200
前受金	7,211,000	—	7,211,000
預り金	12,225,291	—	12,225,291
賞与引当金	11,259,000	—	11,259,000
流動負債合計	85,739,668	—	85,739,668
2. 固定負債			
退職給付引当金	124,493,125	—	124,493,125
固定負債合計	124,493,125	—	124,493,125
負債合計	210,232,793	—	210,232,793
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	—	30,000,000
指定正味財産合計	30,000,000	—	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(—)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(—)	(0)
2. 一般正味財産	32,596,970	—	32,596,970
(うち基本財産への充当額)	(0)	(—)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(10,853,050)	(—)	(10,853,050)
正味財産合計	62,596,970	—	62,596,970
負債及び正味財産合計	272,829,763	—	272,829,763

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[10,125]	[—]	[10,125]
基本財産受取利息	10,125	—	10,125
② 事業収益	[682,048,696]	[—]	[682,048,696]
受託事業収益	571,500,989	—	571,500,989
入場料等収益	105,069,767	—	105,069,767
著作権収益	3,358,140	—	3,358,140
協賛金収益	2,119,800	—	2,119,800
③ 受取補助金等	[18,500,000]	[—]	[18,500,000]
自主文化事業補助金	15,000,000	—	15,000,000
助成金収益	3,500,000	—	3,500,000
④ 雑収益	[16,536,542]	[—]	[16,536,542]
受取利息	106,372	—	106,372
チケット販売手数料	1,763,565	—	1,763,565
物品販売収益	8,933,903	—	8,933,903
その他の雑収益	5,732,702	—	5,732,702
経常収益計	717,095,363	—	717,095,363
(2) 経常費用			
① 事業費	[708,359,799]	[—]	[708,359,799]
報酬	3,733,786	—	3,733,786
給料手当	146,792,670	—	146,792,670
賃金	51,794,746	—	51,794,746
福利厚生費	25,425,702	—	25,425,702
賞与引当金繰入額	11,146,410	—	11,146,410
退職給付費用	5,940,000	—	5,940,000
旅費交通費	598,520	—	598,520
通信運搬費	6,684,646	—	6,684,646
手数料	10,445,350	—	10,445,350
消耗品費	16,754,703	—	16,754,703
修繕料	18,378,274	—	18,378,274
印刷製本費	10,911,831	—	10,911,831
燃料費	235,635	—	235,635
光熱水費	65,243,231	—	65,243,231

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
広告宣伝費	11,702,745	—	11,702,745
委託料	290,860,643	—	290,860,643
賃借料	10,242,595	—	10,242,595
保険料	1,200,110	—	1,200,110
諸謝金	2,154,160	—	2,154,160
公租公課	11,485,100	—	11,485,100
負担金	4,974,900	—	4,974,900
寄付金	722,129	—	722,129
減価償却費	931,913	—	931,913
② 管理費	[6,618,245]	[—]	[6,618,245]
報酬	2,234,747	—	2,234,747
給料手当	1,482,754	—	1,482,754
賃金	523,179	—	523,179
福利厚生費	256,825	—	256,825
賞与引当金繰入額	112,590	—	112,590
退職給付費用	60,000	—	60,000
会議費	51,940	—	51,940
交際費	185,210	—	185,210
諸謝金	1,711,000	—	1,711,000
経常費用計	714,978,044	—	714,978,044
当期経常増減額	2,117,319	—	2,117,319
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	—	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	—	0
当期経常外増減額	0	—	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,117,319	—	2,117,319
法人税、住民税及び事業税	2,365,200	—	2,365,200
当期一般正味財産増減額	△ 247,881	—	△ 247,881
一般正味財産期首残高	32,844,851	—	32,844,851
一般正味財産期末残高	32,596,970	—	32,596,970
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	—	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	—	30,000,000
指定正味財産期末残高	30,000,000	—	30,000,000
III 正味財産期末残高	62,596,970	—	62,596,970

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 当事業年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）に準じて作成している。なお、適用初年度における貸借対照表、正味財産増減計算書の前事業年度の数値については記載を省略している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
- | | |
|-----------|--------------|
| 満期保有目的の債券 | 償却原価法によっている。 |
|-----------|--------------|
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- | | |
|-----|--------------------|
| 貯蔵品 | 移動平均法による原価法によっている。 |
|-----|--------------------|
- (4) 固定資産の減価償却の方法
- | | |
|--------|------------|
| 建物附属設備 | 定額法によっている。 |
| 什器備品等 | 定額法によっている。 |
- (5) 引当金の計上基準
- | | |
|---------|---|
| 賞与引当金 | 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。 |
| 退職給付引当金 | 職員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合要支給額に合理的な見積り調整をした金額によっている。 |
- (6) 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (7) リース取引の処理方法
- リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	118,493,125	6,000,000	0	124,493,125
著作権収入積立資産	7,871,158	2,981,892	0	10,853,050
小 計	126,364,283	8,981,892	0	135,346,175
合 計	156,364,283	8,981,892	0	165,346,175

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債の対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	124,493,125	(0)	(0)	(124,493,125)
著作権収入積立資産	10,853,050	(0)	(10,853,050)	(0)
小 計	135,346,175	(0)	(10,853,050)	(124,493,125)
合 計	165,346,175	(30,000,000)	(10,853,050)	(124,493,125)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,957,325	86,780	2,870,545
什器備品等	5,788,450	948,562	4,839,888
合 計	8,745,775	1,035,342	7,710,433

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価(注1)	評価損益
利付国債債券2年第293回	30,000,000	30,006,000	6,000
合 計	30,000,000	30,006,000	6,000

(注1) 日本証券業協会の売買参考統計値によっている。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(補助金)				
自主文化事業補助金 (注1)	0	15,000,000	15,000,000	0
小 計	0	15,000,000	15,000,000	0
(助成金)				
地域創造助成金 (注2)	0	3,200,000	3,200,000	0
特定求職者雇用開発助成金 (注3)	0	300,000	300,000	0
小 計	0	3,500,000	3,500,000	0
合 計	0	18,500,000	18,500,000	0

(注1) 交付者は市川市である。

(注2) 交付者は(財)地域創造である。

(注3) 交付者は千葉労働局である。

7. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	11,259,000	0	0	11,259,000
退職給付引当金	118,493,125	6,000,000	0	0	124,493,125

8. 関連当事者との取引
 該当事項はありません。

9. 重要な後発事象
 該当事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 財務諸表に対する注記2、3に記載をしているので、内容の記載を省略している。
2. 引当金の明細
 財務諸表に対する注記7に記載をしているので、内容の記載を省略している。

上記の通り相違ありません。

平成24年5月29日

公益財団法人 市川市文化振興財団
 理 事 長 千 葉 光 行

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位 : 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	現金手許有高	運転資金として	3,700,314
普通預金	千葉銀行 市川支店	〃	66,995,615
〃	京葉銀行 本八幡支店	〃	4,014,235
〃	東京ベイ信用金庫 八幡支店	〃	3,677,881
〃	市川市農業協同組合 中央支店	〃	3,015,858
〃	ゆうちょ銀行	〃	1,630,873
〃	千葉興業銀行 八幡支店	〃	299,985
貯蔵品		大ホール取替用シートカバー他	3,231,346
前払金		公立文化施設賠償責任保険他	2,480,230
未収金		文化施設管理受託収入他	10,726,818
流動資産合計			99,773,155
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産			
投資有価証券	利付国債債券2年第293回	法人会計保有財産であり、運用益を法人会計の財源として使用	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金等	東京ベイ信用金庫 八幡支店	職員の退職金支払準備	40,493,125
〃	千葉興業銀行 八幡支店	〃	40,000,000
〃	市川市農業協同組合 中央支店	〃	38,000,000
〃	千葉銀行 市川支店	〃	6,000,000
			124,493,125
著作権収入積立資産			
普通預金	千葉銀行 市川支店	水木洋子事業支払に備えたもの	10,853,050
特定資産合計			135,346,175
(3) その他固定資産			
建物附属設備	ガス漏れ警報設備他		2,870,545
什器備品等	パソコン一式他		4,839,888
その他の固定資産合計			7,710,433
固定資産合計			173,056,608
資産合計			272,829,763
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		委託料未払分他	50,075,977
未払法人税等			2,365,200
未払消費税等			2,603,200
前受金		自主事業入場料収入	7,211,000
預り金		チケット受託販売未精算分他	12,225,291
賞与引当金		職員の賞与引当金	11,259,000
流動負債合計			85,739,668
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職金支払準備	124,493,125
固定負債合計			124,493,125
負債合計			210,232,793
正味財産			62,596,970

平成24年5月10日

公益財団法人 市川市文化振興財団
理事長 千葉 光 行 様

監 事 佐 藤 栄 作 ㊟

監 事 目 等 洋 二 ㊟

公益財団法人市川市文化振興財団決算審査意見書

公益財団法人市川市文化振興財団定款第8条の規定により提出された平成23年度
決算書に基づき、関係諸帳簿及び証書類審査の結果、その収支は正確であることを認め
ます。

公益財団法人 市川市文化振興財団

平成24年度 事業計画書

基本方針

平成24年度は、公益財団法人に移行して2年目を迎え、公益目的に行う事業が一層明確になり、従来にも増して、市川市の文化・芸術の振興を図る主体的な事業を展開していく。また、新法人1年目に築いた基礎の下、財団の設立目的、定款に掲げる事業をさらに強力に展開し、市民の期待に応えていく。

なお、当財団の事業の基幹をなす文化施設の管理運営は、市川市から指定管理者として指定されており、当財団が引き続き指定管理者として指定され、法人の設立目的である地域の文化芸術の振興を図っていけるよう、これまでも増して地域のニーズに応えた事業、サービスを展開していくものとする。

事業

公益認定に際し当財団が設定した公益目的事業は1事業、収益事業等3事業（収益事業1事業、その他の事業2事業）であり、以下、この分類により説明する。

1 公益目的事業（「地域の文化芸術振興を図る事業」）

多様な文化芸術事業の企画、実施、市民の自主的な文化芸術活動の支援を通じ、地域文化芸術の振興・発展を図り、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与するものである。そのため、市川市民の自主的な文化芸術活動の支援・助成・育成や文化芸術の創造・発信や鑑賞機会の提供、さらには文化・芸術の幅広い活動に資する公の文化施設の日常的な運営管理の業務等の事業を、相互の連関において実施する。

また、財団が管理（指定管理）する施設内にとどまらず、学校や公共施設等へ出かけて実施するアウトリーチ活動なども含め、様々な場所で市民が幅広いジャンルの文化芸術に身近に接する機会を提供する。さらに、市川市の地域振興施策等とも連携し、文化芸術活動を通じた街の活性化や地域コミュ

ニティ、地域ネットワークの形成に寄与する。

当財団の公益目的事業はこの「地域の文化芸術振興を図る事業」1本であるが、この事業には当財団の過半の事業が含まれるので、以下、公益認定申請に即し、分類し説明する。

(1) 文化芸術活動に資する施設の管理・運営

市川市から指定を受けた指定管理者として以下の公の施設を管理する。

いずれの施設も指定期間は平成21年4月1日から平成26年3月31日までである。また、これらの施設の指定管理は、後述する「収益事業等」にも一部含まれるが、公益目的事業としての管理は、文化芸術にかかる利用、あるいは不特定多数に開かれた催し等の利用に供するものである。

- | | |
|-----------------|----------|
| ・市川市文化会館 | 開館日数331日 |
| ・市川市市民会館 | 開館日数337日 |
| ・市川市行徳文化ホール | 開館日数334日 |
| ・市川市芳澤ガーデンギャラリー | 開館日数307日 |
| ・市川市木内ギャラリー | 開館日数307日 |

以上の指定管理のほかに、市川市が所有する文化資産である郭沫若記念館、清華園、水木洋子邸の管理業務を受託し、市民サポーター等の活動もいれながら定期的に施設の公開や施設にちなむイベントの開催をする。なお、平成23年度まで管理受託していた片桐邸は老朽化により処分することになり、当財団の管理は外れた。

(2) 文化芸術の鑑賞の機会の提供

指定管理者として管理している施設を中心に、それぞれの施設の特徴や、地域特性を生かした公演等を企画し、開催する。これらは、財団が管理する施設にとどまらず、学校や寺院、展望施設などの公共的空間を利用し、アウトリーチ活動も含め、様々な場所で市民が幅広いジャンルの芸術文化に身近に接する機会を提供する。また、市民の鑑賞機会の拡充のため、共催の形で

外部の主催事業を積極的に誘致する。

施設ごとの自主事業、共催事業は次のとおり。

<自主事業>

○文化会館

- ・市川第九演奏会 平成24年4月15日
 - ・宝塚歌劇公演 花組 平成24年4月28日
 - ・歌舞伎公演 ワークショップ付 平成24年5月13日
 - ・東京フィルハーモニー交響楽団コンサート 平成24年6月30日
 - ・おやこ寄席 平成24年7月21日
 - ・由紀さおり & ピンクマルティニーニコンサート 平成24年10月22日
 - ・東儀秀樹コンサート 平成24年11月16日
 - ・さだまさしコンサート 平成24年12月1日、2日
 - ・山根一仁 ヴァイオリンコンサート 平成25年1月予定
 - ・こまつ座「組曲虐殺」 平成25年1月26日
 - ・木村カエラ コンサート 平成25年2月21日
 - ・NHK交響楽団演奏会 平成25年3月20日
- (その他 予定しているもの)
- ・午後のクラシック 年数回
 - ・大ホールロビー・ホワイエ コンサート
 - ・若者向けコンサート (アニメソングなど)
 - ・お笑い公演
 - ・子供向け公演 (映画あるいは舞台)
 - ・寄席 独演会
 - ・市川寄席

○市民会館

- ・ファミリーコンサート 平成24年12月予定
- ・子供向け邦楽コンサート 平成25年3月予定

○行徳文化ホール

- ・藤原道三×S I N S K E 「ボレロ」 2 0 1 2 平成 2 4 年 7 月 6 日
- ・外山啓介 ピアノリサイタル 平成 2 4 年 7 月 1 4 日
- ・三浦一馬 バンドネオンコンサート 平成 2 4 年 1 0 月 1 2 日
- ・ピアノジャック 平成 2 5 年 2 月 予定
- ・行徳名人会 平成 2 4 年 8 月 1 1 日 及び 平成 2 5 年 3 月 予定

○芳澤ガーデンギャラリー

- ・井上ひさしと安野光雅展～文学と絵画の出会い
平成 2 4 年 4 月 2 4 日～6 月 1 0 日
- ・芳澤寄席 平成 2 4 年 7 月 2 8 日、または 2 9 日
- ・芳澤ジャズ 平成 2 4 年 8 月 5 日
- ・市川こどもアートフェスティバル 平成 2 4 年 8 月 予定
- ・多賀新展 平成 2 4 年 1 1 月 3 日～1 2 月 1 6 日
- ・和田州生写真展 平成 2 4 年 9 月 1 5 日～3 0 日

○木内ギャラリー

- ・木内てこな の 森 音 楽 会 隔 月 開 催
- ・芳澤ガーデンギャラリー主催事業関連イベント

< 共催事業 各施設 >

- ・劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」 平成 2 4 年 4 月 2 1 日
- ・宝塚歌劇 花組公演 平成 2 4 年 4 月 2 8 日、2 9 日
- ・桂文珍独演会 平成 2 4 年 5 月 1 2 日
- ・河村隆一コンサート 平成 2 4 年 7 月 1 5 日
- ・「この本だいすきの会」3 0 周年記念集会 平成 2 4 年 7 月 2 7 日～2 9 日
- ・市川狂言の夕べ 平成 2 4 年 9 月 1 3 日
- ・キエフ国立管弦楽団 平成 2 4 年 1 1 月 1 1 日

- ・新春議場コンサート 平成25年1月4日
- ・ニューイヤーコンサート 平成25年1月7日
- ・佐野元春コンサート 平成25年2月2日

<受託事業>

- ・アイ・リンク スカイコンサート 毎月2回
- ・東山魁夷記念館コンサート 7月、10月、2月(予定)
- ・市川市の収蔵作品展 平成24年6月～7月
- ・平和寄席 平成24年9月9日
- ・人権講演「ヒューマンフェスタいちかわ2012」 平成24年12月15日
- ・市川市成人式 平成25年1月13日
- ・市川市の文化人展 平成25年2月～3月

(3) 文化芸術に関する講座等の開催及び体験の機会の提供

主に指定管理をする施設において、市民を対象に文化芸術に関する講座、ワークショップ、体験教室等を開催する。また、当財団の講座を修了した文化サポーターによる自主企画事業も開催する。

- ・音楽・芸術講座 年4回(市民会館ほか)
- ・芸術映画鑑賞会
- ・サポーター企画事業 音楽 年4回
- ・サポーター企画事業 美術 年3回
- ・ワークショップ 芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリーなど
- ・楽器体験など青少年育成事業 文化会館、芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリーなど

(4) すぐれた文化芸術活動の顕彰及び担い手の育成

市川市における優れた文化芸術活動を顕彰するため、永年、本市の文化芸術に貢献のあった市民等に対し市川市市民芸術文化賞を贈り、授賞式に合

わせ、講演会等を開催する。また、若手演奏家の発掘のためのコンクールを開催、成績優秀者には市内での演奏の機会を積極的に提供する。なお、このコンクールでは平成23年度から邦楽部門を加えたが、邦楽部門を含むことはこの種のコンクールでは珍しく関係者からの評価も高いので、平成24年度も引き続き同部門を加え、市川市のコンクールの特色として定着させていく。

- ・市民芸術文化賞受賞者の選考と授賞式を開催、記念講演、展覧会等
(受賞者のジャンルによって異なる)
- ・新人演奏家コンクール 8月～9月開催、入賞者発表会は11月25日
審査部門は ピアノ、弦楽器、管・打楽器、声楽、邦楽
- ・入賞者は「フレッシュ・アーティストバンク」に登録
登録者は市内各所での演奏を依頼

2 収益事業等

公益認定の申請に当たって「公益目的外」とした事業は、収益事業として「物品販売事業」、その他事業として、「公益目的事業以外の施設貸与」、「友の会運営事業」の計3事業である。これらは、公益認定上は「収益事業等」として一括して扱われるため、ここでも同様の取り扱いをする。

(1) 管理する施設の利用者の利便に資する物品等の販売

管理する施設での、外部主催による公演のチケットの販売、施設利用者のための自動販売機による飲料の販売、その他、雨傘や市川市発行の文化関係書籍等の販売を行う。

(2) 公益目的とした事業以外への施設の貸与

当財団が管理する施設は、文化芸術の振興にかかる使用のほか、それぞれの設置管理条例に基づき、福祉や地域活動にも供されている。また、条例の範囲であれば、企業等の活動にも利用できる。これらの利用に施設を貸し出

すことは、当財団の公益目的事業とはとらえられないので、これらは「その他事業」（収益事業等）として扱った。

また、文化会館の駐車場の管理も、利用者の目的を特定できないので、これも同様に「その他事業」とした。

なお、これら指定管理する施設の利用の公益目的と、公益目的外（収益事業等）の割合であるが、公益認定申請の年度（平成22年度）の過去3年間（平成19年度から21年度）の実績で約75対25、平成23年度は大震災の影響もあり若干平常年と異なるが、12月末現在で約80対20である。

（3）友の会事業

当財団の事業に関心を持つ市民等を登録し、情報提供と主催、共催公演のチケットの割引販売等を行う。会員は年額2,000円の会費を納めることで、毎月のDMの郵送、主催公演チケットの優先予約、割引等の特典を受ける。

平成24年3月末現在の会員数は1,593人。平成24年度も人気公演のチケットの優先取扱や割引を行い新規会員の開拓と、インターネットの時代に相応しい制度の更新を行い、登録会員の拡大定着化を図る。